

科目区分	専門教育科目	授業科目名	子どもの絵と製作Ⅱ				科目コード	26Y214	担当者	山中 慶子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士選択			
授業形態	演習	履修条件	「子どもの絵と製作Ⅰ」の単位を取得済みであること								教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	幼稚園で造形講師の経験があり、幼児造形についての知識を有している。この経験を生かして、実践的な指導を行う。									科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	幼児の豊かな感性や表現意欲を育むための保育を実践する力を身に付ける。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	レポート、作品は回収後、適宜助言を書き添え、後日、本人に返却する。
授業の方法	身近な材料や用具によるさまざまな造形表現活動とその指導方法について提示し、演習を行う。保育における造形表現の意義を説明する。グループで保育現場を想定した造形活動計画を作成し模擬保育を実践する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	教員が与えたテーマに対して自ら素材を準備し、製作を行う。グループでの模擬保育計画・実践の後、省察を行う（全7回）。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	表現の個人差と保育者の援助	個人差対応に関する予習・復習	第9回	造形活動を活かした遊びの実践1（模擬保育）	造形指導計画に関する予習・復習
第2回	発達と用具の指導 1	年齢・発達に合わせた用具の理解に関する予習・復習	第10回	造形活動を活かした遊びの実践2（模擬保育）	造形指導計画に関する予習・復習
第3回	発達と用具の指導 2	年齢・発達に合わせた用具の理解に関する予習・復習	第11回	造形活動を活かした遊びの実践3（模擬保育）	造形指導計画に関する予習・復習
第4回	粘土による表現と素材の可能性	粘土の特性に関する予習・復習	第12回	造形活動を活かした遊びの実践4（模擬保育）	造形指導計画に関する予習・復習
第5回	保育を計画する（導入・展開・環境設定について）	造形指導計画に関する予習・復習	第13回	発想を形にする1（色鉛筆を使った表現）	保育の造形教材に関する予習・復習
第6回	造形活動を活かした遊びの広場を計画する1（グループワーク）	造形指導計画に関する予習・復習	第14回	発想を形にする2（版表現）	保育の造形教材に関する予習・復習
第7回	造形活動を活かした遊びの広場を計画する2（グループワーク）	造形指導計画に関する予習・復習	第15回	鑑賞と評価	これまでの学習内容の予習・復習
第8回	造形活動を活かした遊びの広場を計画する3（グループワーク）	造形指導計画に関する予習・復習			事前・事後学修時間 (分/授業1回)
					180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材/樋口一成編/萌文書林	受講生へのメッセージ	授業の際には、汚れてもよい服装等を各自心がけるようにしてください。材料用具は、基本個人負担です。指定した準備物は必ず準備し、楽しく製作ができるようにしましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

